

平成21年1月22日

(社)日本有機資源協会 事務局(文責:鈴木)

## 神奈川県バイオディーゼル燃料利用情報交換会

神奈川県内でバイオディーゼル燃料の実証を実験または検討されている自治体が増えてきたこと、それに伴う各種情報が多く集まってきている現況から、県と相模原市が表記情報交換会を実施。

当協会を通じ、「全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会」への参加依頼があり、協会ともども協力・参加した。

1. 日時: 平成21年1月22日(木) 13時30分~16時30分
2. 場所: 神奈川県自治会館3階会議室<横浜市>
3. 参加者: 神奈川県下市町村及び一部事務組合
4. 内容:

神奈川県環境農政部廃棄物対策課広域化推進班の阿部主幹から挨拶の後、事前に調査した「県下の取組情報」の報告と、既に実証取組を始めている自治体(一部事務組合)から、それぞれの取組および問題点などが披露された。<写真提供:相模原市>



次いで、自治体先進事例として京都市環境局適正処理施設部の中村担当部長から京都市の取組を紹介、日本有機資源協会の鈴木から全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会の活動内容など説明した。

後段は、現在と今後に向けて抱える問題点などを中心とした意見交換や対応法などを議論し、情報の共有をした。



この情報交換会は、地産地消の好事例として全国に広がってきたバイオディーゼル燃料化の今後の方向付けとして、“県がかかわり”、“各自治体との連携のもと”、問題解決を図っていく手段として、全国に先駆けて開催されたことは大きな意味があると捉えました。

今後、ほかの各都道府県でも同様な会が開催され、次代のバイオディーゼル燃料の展開を図っていけることを願うものです。

以上